

清流地域の環境整備、小中一貫校、後期高齢者医療制度

羽村市議会 6月定例議会・日本共産党市議団の一般質問

市川英子 議員 6月11日 午後1時頃

- 1 原油・原材料高騰から市内業者の営業を守るため、影響調査と具体的支援の実施を
(1) 原油の高騰による市内業者への影響調査の実施をすべきでは(2) 業者から原油高騰で「困っている」等の相談は寄せられていないか。
2 ISO14001認証を返上し、羽村市独自の環境マネジメントシステムへ向け新たな転換を
(1) ISO14001の取り組みの成果は(2) 羽村市独自の環境マネジメントシステムへと移行すべきでは(3) エコバッグの全家庭へ無料配布を
- 3 清流町地域の環境整備について
(1) 羽村堰下橋の補修工事は平成21年度に行う計画である。利用者からは「雨の日は滑る」「歩くと引っかかる」等の声が寄せられており、計画を早めるべきと思うが市の考えを伺う(2) 住民の念願であった公共下水道が開始されることになり、住民は「ずいぶん待たされたなぁ」との思いでいる。今後個人負担でトイレの工事等行うことになるが、高額負担で悩んでいるとの声がある。市は、「無利子貸し付け額の引き上げ」「補助金の引き上げ」を行い、清流町の市民が安心して工事に着手出来るようすべきでは(3) 清流町地区を結ぶあきる野市道548号線の工事が行われているが完了の見通しは

鈴木拓也 議員 6月11日 午後3時頃

- 1 羽村駅西口土地区画整理事業について問う
(1) 仮換地案について、曳き家、再築の見込み戸数、再築補償について
(2) 資金計画について 歳入の平成24～28年度の市費のうちわけは？ 歳出の「建物移転費」の見込みは
(3) 先行取得地の面積、金額は、また今後の計画は
(4) 区画整理事業にともなうCO2の排出見込みは、ごみの排出量とリサイクル可能は割合は、アスベストなど、有害な廃棄物の排出見込みは
- 2 小中一貫教育校構想について問う
(1) 「中間報告」では、(仮称)羽村学園を平成22年4月開校すると書かれているが、市は「実施する・しない」も含めて、市民の声を聞いて検討し、判断していくべきでは
(2) 父母・教師への計画の「説明」と「意見を聞く」ことを十分におこなうことが必要と考えるが、どのように、いつおこなう予定か
(3) 市内の不登校児が多いこと、学習意欲の低下や学力調査での平均回答率の低さの原因は何か

- (4) 「一貫校開設の意義」に関わる「きめ細かい指導」「弾力的な教育課程」「小中学生の交流」とは
- (5) (仮称)羽村学園の開校に伴う学区の段階的変更について(6) 学校選択制はの弊害について(7) 学校間格差の拡大について(8) 教員の多忙化について

中原雅之 議員 6月12日午後1時頃

- 1 後期高齢者医療制度について
(1) 後期高齢者医療制度についての市長の見解はどうか(2) 資格証明書が発行されると、必要な医療が受けられなくなる可能性がある。市の見解と対応はどうか。また、羽村市国保事業での資格証明書の発行状況は
(3) 羽村市国保から後期高齢者医療に移行することによる高齢者やその家族の保険料の負担はどうか
(4) 本制度についての市の説明会や出前講座の開催状況、市の窓口への相談件数は。また、それらで市民から出された、相談、苦情、要望など主な内容はどうか
(5) 高齢者の負担軽減のため、市の独自施策をすべきでは
- 2 緑地の積極的保全を(1) 生産緑地地区指定状況の推移とこれまで解除された面積、市で買い取った面積と価格は(2) 市で買い取らなかった主な理由は(3) 市で買い取らなかった土地のその後の利用状況はどうなっているか(4) 市としてもっと積極的に買い取りをすべきでは

6月議会の日程

6月10日 10時～	一般質問
6月11日 10時～	一般質問
6月12日 10時～	一般質問
6月17日 10時～	厚生委員会
6月27日 10時～	本会議 最終議会

*厚生委員会に付託された陳情は、「高齢者に負担増と差別医療を強いる後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める国への意見書を提出する」陳情書の一件です。



無料法律相談のお知らせ

- 6月10日(火) 午後1時30～
予約が必要です。
- * 中原雅之 554-1163
 - * 市川英子 554-1140
 - * 鈴木たくや 080-1058-9450

羽村民報

2008年6月8日 No.897
発行 羽村民報編集委員会
責任者 野崎 衷

市議団事務所
電話 579-2132 FAX579-2106
http://www.jcphamura.org